



## 前提条件とガイドライン

- [HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件](#) (1 ページ)
- [アップグレードの推奨事項](#) (2 ページ)

# HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件

アップグレードプロセスを開始する前に、次のタスクを実行する必要があります。

- [HX データ プラットフォーム \(HXDP\) ソフトウェア推奨リリース バージョン](#) : [Cisco HyperFlex HX シリーズ システムの Cisco HyperFlex アップグレード ガイドライン](#)を見直します。
- [vCenter のバージョン チェック](#) : vCenter がバージョン 6.5 U3 以降で、アップグレードされる ESXi バージョンの最小要件を満たしていることを確認します。vCenter と ESXi の間の互換性を確保するには、[VMware 製品の相互運用性マトリックス](#)を参照してください。
- リリース 3.5(1a) よりも前である HyperFlex リリースを実行している場合に示すように、手動ブートストラッププロセスを実行して [Cisco HX データ プラットフォーム](#)をアップグレードする必要があります。これらの手順は、『[サポートされていない Cisco HX リリース ガイドの Cisco HyperFlex システム アップグレード ガイド](#)』で取り上げています。
- [vMotion 互換性](#)のために、すべての VM ネットワーク ポート グループがクラスタ内のすべてのノードに存在することを確認します。
- 計画されたファブリックフェールオーバー中の中断のない接続を確保するために、管理およびストレージデータの VLAN がトップオブラック ネットワーク スイッチで設定されていることを確認します。
- 環境内でジャンボフレームを使用している場合は、ジャンボフレームが、トップオブラック スイッチ上の vMotion およびデータ ネットワークで有効になっていることを確認します。
- アップグレード中に ESXi ホストがロックダウン モードになっていないことを確認します。ロックダウンモードは、アップグレードの完了後に再度有効にできます。

- HX CSI を使用しており、永続ボリューム要求を保護する必要がない場合は、[Cisco HyperFlex Systems Administration Guide for Kubernetes](#) を参照してください。永続ボリューム要求が必要な場合は、TAC にお問い合わせください。

## アップグレードの推奨事項

サポートされたリリースのアップグレードについては、『[HX データプラットフォームソフトウェア推奨リリースバージョン : Cisco HyperFlex HX シリーズ システム](#)』を参照してください。

サポートされなくなったリリースからアップグレードする場合は、『[Cisco HyperFlex Systems Upgrade Guide for Unsupported Cisco HX Releases](#)』を参照してください。